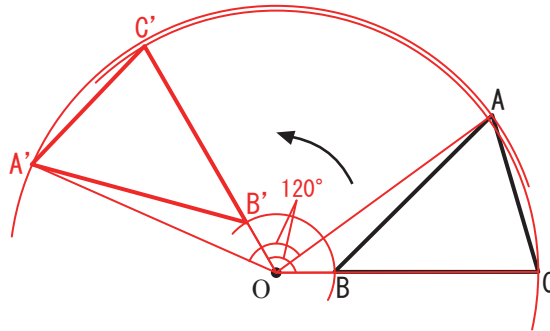


3年間のまとめ 4(5)

【1】の復習 中1「平面図形の移動」▶

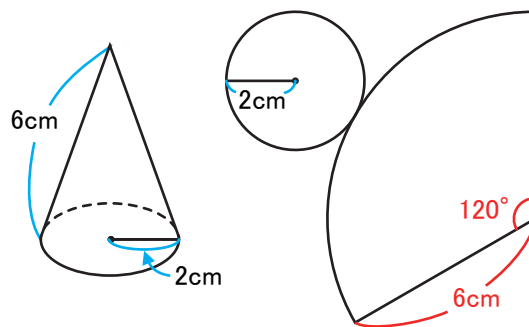
- 【1】次の図の△ABCを、点Oを中心として矢印の方向に120°回転してできる△A'B'C'をかきなさい。
(分度器も用いてよい)



【2】の復習 中1「立体の表し方」▶

- 【2】右の図は、円錐の見取図と展開図である。
これについて、次の問いに答えなさい。

- (1) 円錐の側面は、展開図ではおうぎ形になっている。
このおうぎ形の弧の長さを求めなさい。



側面のおうぎ形の弧の長さと、底面の円の周りの長さは等しいので、

$$2\pi \times 2 = 4\pi$$

答え 4π cm

- (2) このおうぎ形の中心角を求めなさい。

おうぎ形の半径は、円錐の母線の長さと等しいので、中心角は、

$$360 \times \frac{2\pi \times 2}{2\pi \times 6} = 360 \times \frac{1}{3} = 120$$

答え 120°

- 【3】BA = BCの二等辺三角形ABCで、頂点C, Aから辺AB, BCまで垂線を引き、交点をそれぞれD, Eとする。このとき、BD = BEであることを証明しなさい。

△ABEと△CBDで、

仮定より、∠AEB = ∠CDB = 90° … ①

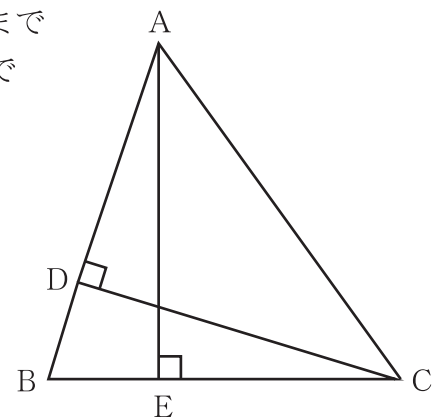
BA = BC … ②

共通な角なので、∠ABE = ∠CBD … ③

①, ②, ③より、

斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいので、△ABE ≅ △CBD

合同な図形の対応する辺は等しいから、BD = BE



【3】の復習 中2「三角形」▶